

浜松観光ボランティアガイドの会



年 頭 あ い さ つ



～新年を迎えて～

浜松観光ボランティアガイドの会 副会長 大見美保子（西ブロック）



明けましておめでとうございます。

皆様方にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃はガイド活動をはじめ、会の各種行事や運営につきましてご協力を頂き、御礼申し上げます。

昨年は、「令和」という新しい歴史のページが開かれた年でした。その記念すべき年に本会は創立 20 周年という節目を迎えることができました。これもひとえに浜松市をはじめとする関係各位のご支援とご協力、そして先輩方並びに現会員の皆様の活動のおかげと心より感謝申し上げます。創立 20 周年記念行事として 11 月には記念式典が催されました。多数のご参加ありがとうございました。また、本年早々には記念誌をお配りする予定です。

さて、本年も 1 月 13 日から始まる「観光ボランティアガイド新人養成講座」を皮切りに、「ふるさと講座」「富士山の日記念ウォーク」など様々な事業が計画されています。皆様のご協力をお願い致します。

浜松城では、家康公入城 450 年という話題もあり、来城客の増加が見込まれます。加えて、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、昨年のラグビーワールドカップの時と同様に、多くのお客様が浜松市にお越しくくださるのではないかと期待されています。従いまして、浜松城をはじめとする 4 カ所の拠点での私たちの活動は、益々大切なものになると考えます。会員一人ひとりが研鑽を積み、「おもてなしの心と感謝の心」を持って、お客様をお迎えください。

何はともあれ、お互いに協力しあいながら、健康にはご留意いただき「明るく 楽しく やらまいか」の心意気で、浜松観光ボランティアガイドの会の新たな歴史を刻んで参りましょう。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

今年も子(ネ)っチュー一症に気をつけて活動して子(ネ)



ジャンボ干支 ア・ラ・カ・ル・ト

- ・今年の「子」で 26 作目。12 月から 2 月まで展示。
- ・干支は 2016 年に「しまだ市民遺産」に認定された。
- ・構成材料は、間伐材、竹、わら（可愛い子ネズミも 3 匹います。どこにいるかわかるかな…）
- ・一番大きいサイズは高さ約 3.5m、幅約 4.5m。
- ・年末の風物詩で年賀状用に写真撮影に来る人が多い。
- ・年賀状を受け取った人が翌年の干支を撮りに来る。
- ・干支の展示が定着し、全国から見物、撮影に訪れる。
- ・展示場所は、島田市大代の島田市指定文化財「御林守河村家住宅」の駐車場。（新東名島田金谷 IC から約 10 分、東名相良牧之原 IC から約 25 分程度）

2015年6月末から2018年3月末までの2年9カ月、夫と共に中国蘇州で過ごしました。私は中国の歴史、特にシルクロードに興味がありましたので、この間、可能な限り旅行に行ったり、中国語を習ったり、中国文化に触れたりしました。



古い町並みの山塘街

さて、蘇州は江蘇省にあり、上海と南京の中間、太湖と長江に挟まれた、「アジアの水の都」として有名です。上海からは約85kmです。歴史は古く、城壁が建てられたのは春秋時代、今から2500年以上前になります。街の至る所に史跡が残り、9つの庭園、盤門、虎丘、京杭大運河（北京から杭州までを繋いでいた大運河）、これらは全てが世界文化遺産です。この運河は、隋の煬帝（ようだい）の時代に建築開始、修理拡張を繰り返し、「東方のベニス」の名に違わず、情緒ある水路は今も旧市街に張り巡らされています。

そして、山塘街は白居易が築いた水路沿いの黒瓦、白壁の街です。

蘇州では二年半ほど大学に通い、中国語や中国文化の勉強をしていました。大学は城壁の内側（旧市街の東側）、私達の住居は西側の新市街地でした。そのため毎日登校にはバスに乗って、京杭大運河を渡り、旧市街を西から東に横断していました。私は、バスに乗って趣のある古い町並みを見ながら大学に向かうのが大好きでした。

歴史を遡ると蘇州は「春秋の五覇（ごは）」の呉（ご）の都でした。呉王闔閭（ごおうこうりょ）の命を受けた伍子胥（ごししよ）が作った都市の形が現在も残っており、城壁の周りの水堀は現存し、一周14kmの遊歩道になっています。城壁はほぼ昔の通りに再建されました。旧市街は水堀で囲まれているので、昔は蘇州に入るには橋を渡るか、船を使わなければなりません。現存する唯一の水陸両用門が盤門です。蘇州は魏・呉・蜀の三国時代は呉の領土でした。呉の孫権が建てた瑞光塔（ずいこうとう）があります。明を建国した朱元璋も褒め称えたという素晴らしい塔です。



中秋の名月に輝く瑞光塔

呉王闔閭の墓と言われているのが虎丘です。足元下に剣池が望めます。剣池の下に闔閭の遺体ととも



雪の虎丘

にも沢山の財宝が眠っているという伝説があります。呉王闔閭が伝説の刀鍛冶夫婦の干将（かんしょう）・莫耶（ばくや）に命じて作らせた魔剣で試し斬りをした石（真っ二つに割れています）や、和尚の仏教の教えに領いた石、さらには約千年前の宋の時代に作られた石の塔があります。この石の塔は少し傾いているので、ピサの斜塔にちなんで、東洋の斜塔と言われています。また春の梅、夏の竹林、秋の紅葉、冬の雪と四季折々に趣の異なった風情を楽しむことができます。それも虎丘の魅力です。

日本人との関わりが非常に深いのが寒山寺です。この寺の鐘の音を有名にしたのは「月落烏啼霜满天」で始まる「楓橋夜泊（ふうきょうやはく）」という詩です。作者は張継という唐時代の詩人です。彼は科挙に失敗し、傷心の思いで寒山寺の鐘の音を聞いたそうです。次の科挙で見事合格したこともあり、合格祈願に大勢の人達が訪れていました。ここでは日中友好事業の一つとして、毎年大晦日に除夜の鐘を鳴らすイベントがあります。この時には多くの日系の会社が招待され、蘇州麺が振る舞われます。おかげで、私も年越し気分を味わうことができました。

近年、中国からの訪日観光客が増えています。私は未だ中国語や中国文化の勉強半ばですが、是非、中国からのお客様のお役に立ちたいと思っています。

南ブロック 松沼素子

みなさん、スポーツは好きですか？楽しんでますか？

水泳、ソフトボール、剣道、サッカー、卓球、野球、柔道、テニス、スケート、スキー、登山、陸上、駅伝、ボーリング、ゴルフ。以上が、私のプレー実体験をしてきたスポーツである。

テレビ観戦で楽しんでいるスポーツとしては、プロ野球、MLB、サッカー、ラグビー、ボクシング、箱根駅伝、大相撲、プロゴルフ、夏季・冬季オリンピック、パラリンピック等がある。

今までに実体験してきたスポーツは、どれ一つ頂点を極めたものはなく、胸を張って誇れる種目は、ボーリングを除けば皆無である。プロフェッショナルを目指したわけではないので、アマチュア精神で多くの友と一緒に、大いに楽しめればいいのである。

若い頃は、投げる・打つ・走る・蹴る・滑る・登る、と楽しんだものであるが、近年では加齢とともに体力の低下には逆らえず、今はほとんどがテレビ観戦で「観るスポーツ」を楽しんでいる。

数多のスポーツがある中で、今までに体験してきたスポーツや、テレビ観戦の中で、思い出深い事や、印象に残った事、感じた事を以下に記してみたい。

会社の「ボーリング大会」でプロ並みのスコアを出したのは、9フレームまでオールストライク。10フレームの3投目でピンを2本残して、298点というスコアは自慢してもいいのでは…。

他のレーンの人達が集まってきて、周りで大勢が観ている中、先輩の「小池パーフェクトを狙え！」の一言で、手が震えて緊張してしまい、残念ながら「パーフェクトゲーム」は成らなかったものの、優勝とハイゲーム賞を手にすることができた。



駅伝では全社大会に向けて、15時頃からは会社業務を免除してもらい、長野市の「アップルライン」で練習をした。アップルラインは昨年台風19号で甚大な被害が出た所である。駅伝では芳しい成績は残せなかったが、陸上では名古屋支店大会400mリレーで、2年連続大会新記録で優勝したことがある。サッカーの思い出として、3位決定戦には、甲斐駒ヶ岳から鳳凰三山、夜叉神峠への縦走単独行の日程上、決定戦に参加できず山行を終えて帰ると、後輩から銅メダルを渡された時はとても嬉しかった。

私は巨人ファンである。長嶋茂雄の後楽園球場での引退セレモニーはテレビにくぎ付けとなり、しっかりと見届け、最後に「我が巨人軍は永久に不滅です！」このシーンを観て思わず落涙してしまった。

巨人、大鵬が人気絶頂の一時代、子供の好きなものとして「巨人・大鵬・卵焼き」が流行り、しばらく後には、江川の巨人入団経緯が社会問題となった頃は、子供の嫌いなものとして「江川・北の湖・ピーマン」が流行ったものである。大鵬と言えば、一時期「柏嶋時代」を築いた昭和の名横綱である。その大鵬の孫二人が大相撲に入門し、初場所の番付では兄の納谷(なや)が幕下東5枚目、弟の夢道鵬(むどうほう)は序ノ口東27枚目の位置にいる。兄弟で切磋琢磨して稽古に励み、昇進してやがて夢道鵬には祖父のような名横綱になって、「巨人・夢道鵬・ハンバーグ」の流行語を造って欲しいものである。

大鵬を尊敬する横綱白鵬にひとこと言いたい！「張り手」「かち上げ」「はたき込み」は横綱の品格に欠け見苦しい。反則ではないが、横綱であれば堂々とした立ち合いで勝負して欲しいものである。



昨年女子ゴルフ界は「スマイリング・シンデレラ/しぶこ」こと、洪野日向子で盛り上がった。決して美人ではないが、ラウンド中の笑顔と駄菓子を食べる天真爛漫さ、ユニークなコメントで一気にしぶこの虜になり、メロメロである。

今年の東京五輪でゴルフ出場権を勝ち取って、是非とも金メダルを取ってほしい。全英オープンのようにリラックスしてプレーすれば不可能ではない。

1964東京五輪でのショッキングな出来事は、柔道で神永が「オランダの赤鬼」ことヘーシンクに敗れたことである。また、固唾をのんで見ていた男子棒高跳びでは、金メダルのハンセン(米国)と銀メダルのラインハルト(独)の9時間余りに渡って、死闘が繰り広げられたシーンが印象的であった。

1964年の開会式では、NHK北出清五郎アナウンサーの「世界中の青空を全部東京に持ってきてしまったような…」と名調子での中継は素晴らしかった。2020東京五輪の開会式では「世界中の雨雲を全部東京に持ってきてたような…」天気にならないことを祈るばかりである。

1964年では「鬼に金棒、小野に鉄棒」「体操の名花チャスラフスカ」と名言もあったが、さて今年の東京五輪では、後世に残るどんな名言が生まれるのか今から楽しみである。

多くの感動や勇気を与えてくれる名シーンにどれだけ出会えるか期待したい。「スポーツ万歳！」

東ブロック 小池輝夫

◆お知らせ◆

富士山の日記念ウォーク

事業部主催で、「もっと知ろうよ はままつ 浜松で誕生の国学者 賀茂真淵の足跡を訪ねる」をテーマに下記の予定で「富士山の日記念ウォーク」が開催されます。大勢の参加者をお待ちしましょう。



1. 日時 : 令和2年2月23日(日) 雨天決行
9:00 スタート (最終 9:30 まで)
2. 集合場所 : 浜松城公園駐車場入口 せせらぎの池付近
3. 参加費用 : 無料 申し込み不要 当日会場に集合
4. その他 : 防寒対策をし、歩きやすい服装で。飲み物は各自で用意
5. コース : 約 2.5 時間



公園駐車場 ⇒ 富士見櫓跡 ⇒ 作左曲輪 ⇒ 秋葉神社 ⇒ 鴨江寺 ⇒ 賀茂真淵記念館 ⇒ 縣居神社 ⇒ 賀茂真淵誕生の地 ⇒ 賀茂神社 ⇒ 縣居小学校 ⇒ 堀留ボッポ道 ⇒ 梅谷本陣跡 ⇒ 五社公園 ⇒ 公園駐車場戻り

12月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* 阪急交通社	16回	580名
* クラブツーリズム	4回	73名
* 赤門幼稚園	2回	67名
* ながかみ保育園	2回	56名
2日 月	APPLE JAPAN	15名
4日 水	青葉の家 (株)御殿場旅行	12名 14名
6日 金	(株)農協観光	38名
7日 土	埼玉縣信用金庫川口朝日支店 バンダイナムコテクニカ	14名 42名
8日 日	JTBメディアアレーリング	42名
12日 木	JATB91209M (中国) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	16名 16名
14日 土	岡山広島ツアー	39名
15日 日	(株)立川製缶兵庫工場	14名
19日 木	磐田市立岩田小学校	24名

19日 木	静岡県生きがづくり協会 ひずるしい鎮玉(しずたま)	74名 17名
21日 土	東部観光	30名
26日 木	放課後デイサービス * 上記以外に10名以下の4団体	22名 27名

《犀ヶ崖資料館》

1日 日	明治安田生命	230名
4日 水	クラブツーリズム	17名
8日 日	城めぐりの会	20名
18日 水	クラブツーリズム	24名
19日 木	磐田市立岩田小学校 * 上記以外に10名以下の2団体	24名 12名

《浜松まつり会館》

* 日曜対応 (1、8、15、22日)	302名
---------------------	------

はままつ案内人会報 214号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
〒430-0946
浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)
TEL & FAX 053-456-1303
メールアドレス mail@hama-svg.jp
ホームページ http://www.hama-svg.jp/



はままつ案内人

検索 🔍